

# 議会報告会報告書

平成27年11月5日

山陽小野田市議会

議長 尾山 信義 様

B 班

代表 下瀬 俊夫

平成27年9月定例会議会報告会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

## 記

### 1 開催日時

平成27年 10月 28日 ( 水 ) 19:00 ~ 20:30

### 2 開催場所

赤崎公民館

### 3 参加人数 (市民)

7 人

### 4 担当班議員名

( 下瀬 俊夫 ) ( 石田 清廉 ) ( 大井 淳一郎 ) ( 笹木 慶之 )  
( 杉本 保喜 ) ( 中村 博行 )

### 5 報告会次第

(1) 市議会議長挨拶

(2) 9月議会の報告

① 総務文教常任委員会 ( 中村 博行 ) [司会] ( 石田 清廉 )

② 民生福祉常任委員会 ( 下瀬 俊夫 ) [記録] ( 中村 博行 )

③ 産業建設常任委員会 ( 大井 淳一郎 ) [受付] ( 笹木 慶之 )

④ 一般会計予算決算常任委員会 ( 杉本 保喜 )

(3) 質疑応答

## 6 主な質問・意見・提言

- ① 教育委員会の松本市視察は「使わない」「持ち込まない」のアレルギー対応を参考にするために行ったのか。

[回 答]

センターとしてはアレルギー食対応の先進地であるということから参考になればとの思いで行ったもので、同じようにしようとするものではなく、あくまでも現状を下回らない、県下一を目指すことに変わりはないとのことである。

- ② 総務委員会は教育委員会の視察報告を受けて、アレルギー対応ができると納得したのか。

[回 答]

納得したわけではなく、教育長の「県下一を目指す」という重い言葉を忠実に守るよう今後も総務委員会が十分注視をしていくことを確認している。

- ③ 総務委員会は本当に教育長の県下一を目指すという言葉の実現が可能か検証はしたのか。

[回 答]

検証は現実の問題として困難だが、一番重要な部分であるアレルギーについては、委員会として引き続き追跡してチェックしていく。

- ④ 病院の赤字の原因は何なのか、今後の経営の見通しはどうか。

[回 答]

今回の説明は26年度の決算の数字で、去年のプレオープンの際に3日程度休院をした影響で入院患者、外来患者数が減ったことと元に戻るまでに時間を要したことがあげられる。現在では入院・外来患者とも増加傾向にある。懸念材料は平均入院期間が減ったこと、ベッドの回転率が低いことである。

- ⑤ 休院することは分かっていたことではないのか。また、今後収益を上げる見通しはどうか。

[回 答]

想定はしていたが、家庭に帰したり、転院したりした入院患者が戻ってくるまで年をまたぐほど長期間になるとは思っていなかったということである。収益については通常、医師一人当たりで見るところ、本院は入院・外来患者数を目安にしている。医師数は30人が目標だが、県の方針が萩市など県北の医師数の少ない地域を優先にと考えているので難しい。病院関係者は現在25人の医師の増員に努力はしながら当面、入院・外来患者数を前年より増やすことを目指している。

- ⑥ 水道施設の老朽化による年間の漏水量はどうか。

[回 答]

給水量の中に有効水量と無効水量があり、有効水量の中に収益になる有収水量

と公衆トイレや消防に使用する無収水量がある。漏水は無効水量のことだが、数値については把握していない。

- ⑦ 宇部市との水道広域化について、メリット、デメリットをよく検証した上で市民にプラスになるよう議会で研究して欲しい。

〔回 答〕

今後、中間報告で詳細が分かってくるのでしっかり対応していく。

- ⑧ デマンド交通試行運転での現状評価はどうか。効果があれば他地区でも実施する予定があるのか。

〔回 答〕

殿様号と姫様号があり、ともに開始時と今年7月との比較では、かなり稼働率が上がってきている。委託業者の企業努力に負うところが多いと聞いている。この事業は始まって1年も経っていない。他の交通機関との接続、連携も考えた上で、より良いものとしていくよう産業建設委員会でも協議していく。

- ⑨ 乳幼児医療助成制度で、他市では無料化が進んでいるのではないかと。本市にはそんな考えはないか。

〔回 答〕

どの範囲まで無料にするのか、助成割合を増やすのか。財源が伴うので難しい問題だが、継続しなければ意味がない。来年度予算時の審議になる。

- ⑩ 福田議員は一般企業であれば懲戒免職であるが、議会ではそれがなされていない。どんな状況なのか。

〔回 答〕

福岡地裁で執行猶予4年がついて身柄拘束が解け、議員活動ができる状況にある。市の職員ならば、市長が免職させられるが、議会にはその権限はない。議会としては早期に議員辞職勧告を決定し、通知をしているが、これには法的な拘束力がなく、議会としては限界である。現在、福田議員からの辞職の申し出はない。この件について議運で協議中である。

要望 厚狭複合施設建設のワークショップでは市民が夢を語り、まちづくりにつながる意見を出したが、全く反映されていない建物となった。議員も一生懸命やっていたが、給食センター、病院事業など行政の議会軽視は顕著である。議会は今以上に頑張ってもらいたい。

要望 議会報告会の実施は本当に評価できる。行政も議会も市民のためであることを忘れず、議会は行政チェックをしっかりとって欲しい。